



学校だより

令和3年度12月号

文教大学附属小学校

<http://www.bunkyo.ac.jp/bkshogak/>



日々が紡ぐ TATEWARI の絆

～リーダーへ心からの感謝と拍手～



校長 島野 歩

紅や黄に染まった落ち葉を踏みしめるたび、自然が創り出したなんとも心地よい香りが鼻を通り、身体いっぱい心いっぱい入ってきます。師走。文教大学附属小学校の桜の木もはらはらと葉を落とし、いよいよ冬支度です。新型コロナの状況は依然として予断の許さぬ状況ではありますが感染防止を徹底し、**かけがえのない一日一日を大切に紡いでいきます。**

感染対策を万全にと留意しながら、2学期の後半は、1学期には見送らざるを得なかった社会科見学や1年生から6年生までの TATEWARI (縦割り) 活動を再開することができました。**その中で、光っていたのは子どもたち同士の TATEWARI の絆、そして何と言っても6年生のリーダーシップです。素晴らしい！感謝の気持ちで心からの拍手を送りたい！**

初めての TATEWARI 遠足では、1年生の荷物をもったり班員の歩調を合わせ気遣いしたり、時間の使い方の管理をしたり・・・それはそれは大変な一日だったに違いありません。

過日の池上線遅延の際も、とっさの判断で小さい学年の子どもたちを励まし、声をかけ、学校まで引率してくれたのも、4.5.6年生高学年の子どもたちでした。

「6年生のお兄さんが声をかけてくれなかったら、私はそのまま駅で待っていて泣いていたかもしれません。」とお話してくれた2年生の女の子。おそらく、その子が6年生になって同様の状況に遭遇したら、自分が優しくされたように、優しくすることができるはずです。

「優しくされたら、優しくなれる」そんな文教大学附属小学校の子どもたちを、あらためて誇りに思います。

その日には、保護者の方からも、「リーダーの子どもたちの姿に感激しました！」とのお電話を多数いただきました。あらためて、いただきましたお電話の内容を一部ご紹介するとともに、子どもたちを支え見守ってくださっている保護者の皆様に感謝申し上げます。

心からの御礼を申し上げます。ありがとうございます。

池上線が遅延したその日に、保護者の方からいただいたお電話の内容の一部をご紹介します。



朝、中原街道の石川台交差点付近で文教大学附属小学校の数人の一行を見かけました。6年生の男の子を先頭に5年生の女の子が列尾に。低学年のお子様を間にはさみながら、きれいに一列に並んで、誰一人ふざけることなく静かに歩いていました。先頭の6年生の子の表情は、実にきりつとし、緊張感と責任感にあふれていました。その素晴らしい光景に思わず感激し、涙がこぼれてきました。

TATEWARI(縦割り)は本校の宝

リーダーから後輩に贈るエール

11月8日(月)11月10日(水)は、1年生から6年生まで学校あげでの縦割り活動「TATEWARI 2DAYS」でした。6年生リーダーの取材内容をご紹介します。

子どもたちの笑顔がいろいろなところで、あふれていました。自分の意見を通すばかりでなく、思いやりをもって、ゆずったり、ゆずられたり……。だからこそ、心からの明るい笑顔が輝いていたのかもしれない。「ふるさと文教大学付属小学校」をささえる強い絆、TATEWARIは本校の宝です。

どんなことを意識しながらTATEWARIリーダーをつとめているの？



みんなの「きずな」を深めることを意識してやっています。そのためには、みんなで助け合えるように低学年の子たちが大変なときは助けてあげています。荷物が重そうなときはもってあげることもありました。

自分が低学年のときリーダーや上の学年の人たちに優しくしてもらってきたから自分の中では「リーダーが下の学年の子たちに優しくするのは特別でなくあたり前のこと」って育ってきました。

リーダーや6年生が低学年に気をつかうのはあたりまえのことです。でも無理に気をつかうと周りにも気をつかわせるので、よくないなって思ってから、無理をしないで、自分もリーダーとして楽しんでいます。

時間の管理が大変です。

リーダーが、いくら時間の見通しをもって行動していても他のみんなは時間に対する危機感がないので、だらだらしがちです。リーダーだけがあせってしまうことが大変です。

責任があるので大変です。

リーダーが方向音痴だとみんなをまきこんで迷わせてしまう可能性があるじゃないですか。リーダーの判断でみんなに迷惑をかけるのではないかと心配なことが大変です。

みんなと一緒に歩くときが大変です。

学年で歩幅が違うのでどうしても1年2年が遅れがちになります。だから歩調をあわせてゆっくり歩いたり時々とまったりそれが大変です。

どんなときに「リーダーって大変!!!」って思う？



中学受験 時事問題対策講座



日ごろから身近に起こっている事象 や社会情勢に興味関心をもつこと

本年度も、早川明夫先生（文教大学地域連携センター講師：ジュニアアエラニュースのキーワード88 監修）にご来校いただき、中学受験時事問題対策講座を開催いたしました。

5年生6年生の真剣なまなざしに、会場となった本校講堂は、早川先生のもとも分かりやすい解説とともに熱気に包まれました。

- 教科書は入試問題の宝庫！学校の教科書を軽く見てはいけない！
 - 日ごろから身近な出来事やニュースに興味関心を持つことが大切！
 - 耳にした情報、目にした情報は、必ず自分で調べて確認しておくこと！
 - 地名が出てきたら、必ず地図帳で位置を確認すること！
 - 知らないことがあったら、すぐにメモする習慣をつける！
（メモをする習慣のある人となない人では、探究のチカラに差がでる）
- たくさんのご示唆をいただきました。

子どもたちの感想から

- ◆一番印象に残ったことは「教科書を甘くみてはいけない」ということです。麻布でも教科書から出題されていることに驚きました。浅野についても詳しくお話を聞いたことは光栄でした。
- ◆もともと社会が苦手です。特に時事問題は得意ではなかったのですが、早川先生のお話を聞いてからは、時事問題の面白さに驚きました。お世辞ではありません。とくに印象に残った言葉は「学校の教科書には詳しく書いてあるから読んだ方がいい」という言葉です。教科書の見直しなら学校で簡単にできるので、有難かったです。
- ◆ニュースだけでなく身の回りのことにも興味をもってみようと思えた講演会でした。

12月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 伝統芸能鑑賞会 (人形劇プーク)
5	6	7 社会科見学(5年)	8 3&4ACTIVITY(3, 4年)	9	10 避難訓練	11 父母の会講演会 (魚住りえ氏)
12	13 *13日よりB時程	14 希望個人面談	15 パンダイ出前授業(5年)	16 車いすバスケット(4年)	17 5年生 お正月飾り作り	18 終業式
19	20 餅つき(6年)	21	22 6年 冬季補習6日間	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1月1日 元日

12月の生活目標

重点目標 <文教っ子八ヶ条 第七条 困っている友達に進んで声をかけることができること>

- ◎ 言葉づかいに気をつけよう
- ◎ 進んで仕事をしよう

- ・相手を思いやった言葉づかいをする。・丁寧な言葉づかいをする。□
- ・係や当番、委員会の仕事を進んでやる。

日頃の言葉づかい見直してみましよう <文責：教頭田中 宏一>



昨年も書いた内容になりますが、相手を思いやった言葉遣いとはどんな言葉でしょうか。ていねいに話せばいいのでしょうか、難しくなかなか自然にできるものではありません。ご家庭でも振り返ってみる機会としていただければと思います。

一つ例を挙げます。最近マスクをつけて話をする機会が多くなりました。マスクで声が小さくなり、話している内容が聞こえなかったことはありませんか。そんな時、どのように聞き直せばよいでしょう。「なに？」とか「え？」と聞き直しますか。「声が小さくて聞こえないよ。」「聞こえませんが！」と聞き直しますか。それとも、「ごめん、聞き逃しちゃった、もう一度言って。」といった感じになるでしょうか。聞き方はいろいろあると思います。そこで、考えてほしいことは、相手を思う気持ちです。ひょっとしたら、相手は一生懸命に話している途中かもしれません。その時に「なに？」とか「え？」とだけ言われて話を切られたらどんな気持ちになるでしょうか。相手は、一生懸命に話していればいるほど、良い気持ちにはならないでしょう。

ちなみに英語で聞き逃したときに、どういう言い方か調べてみたところ、こちらも、いろいろと言い方はあるようでしたが、Sorry?やExcuse me could you repeat that. と言うようです。どちらにも「(聞き逃して) すみませんが。」という気持ちが入ります。聞き逃してしまうことはよくあることです。もう一度言ってもらうことは決して悪いことではありませんが、相手の言い方が悪かったように聞こえてしまう「なに?」「え?」という一言では、済ませないようにしたいですね。2学期のまとめの、12月です。言葉づかいにも、気を付けて2学期のまとめをしてください。

車での送迎につきましてのお願い

日頃より、車での送迎につきましては、ご協力いただきありがとうございます。朝、子どもたちの元気なあいさつが、一日のスタートを気持ちよくきることができています。また2学期、送迎に対するご近隣からの相談のお電話もありませんでした。再度のお願いになりますが、送迎の為の停車の際、交差点近く、玄関前、小学校の白いフェンスの横には停車をご遠慮していただきますようよろしくお願いいたします。

子どもたちも、保護者の皆様も、ご近隣の皆様も、工事をされている方も、皆さんが気持ちよく毎日を過ごせますように、引き続きのご協力をお願いいたします。